工数削減と環境負荷低減を図ったトータル物流改善

SANRITSU

旧梱包（木枠梱包）





既存の木枠梱包

・開梱後に廃材が出る

・仕組み材の状態で保管スペースが必須





クレーン据え付け（吊り梱包）が必須

・クレーン据え付け時木枠から一度製品を出さなければいけない（手間）

・赤枠の"ビーム"と呼ばれるパーツが必須、製品のがたつきやグラつきを固定する為の重要な部材だが、この部材の設置が非常に手間で工数がかかっていた

・内容品が80kg以上ある事や、工数がかかる梱包方法の為、二人作業が必須



バラシの工数がかかる

・開梱後に廃材が出る

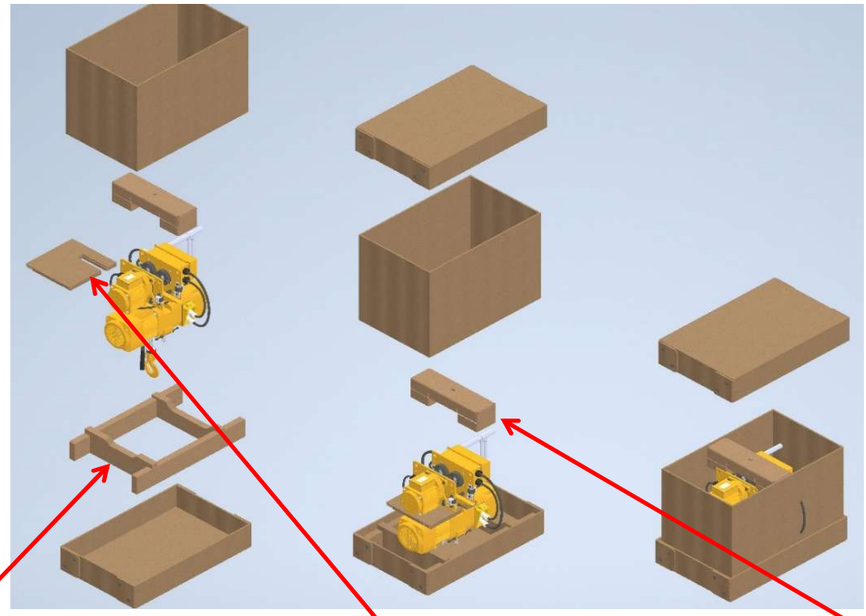


作業の属人化

・木枠梱包出来る作業者が限られてしまう

段ボール化

新梱包（ALL段ボール）





重量物の為、積層部材で下部を固定、木枠時の仕様から工数を改善、類似製品でも兼用化を図り、管理・コスト面に貢献した底パットとなっている。



製品のがたつきやグラつきを固定し、自立する為の固定用の積層材、クレーン据え付け時に一人作業が可能になり、工数を大幅に軽減。



天面の押さえと上部の固定パットとして使用。この部材も類似製品での兼用化を図り、木枠仕様から工数を削減、折り込みも簡易的な仕様となっている。

トータル物流コスト*50%*以上削減

・廃棄コスト・環境負荷の低減

・段ボール簡易梱包の為、属人化を回避

・木枠→段ボール化により資材管理が容易になる

・内装材は一般段ボールで小さく軽いため、**女性でも簡単に扱える仕様**になっている

・吊り梱包の際、段パレに載った製品をそのまま上昇させる事が出来る仕様に改善し、**一人作業が可能となる**

・ALL段ボールの為、廃棄が容易で環境的

・吊り梱包改善により、**梱包時間75%削減**